

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム陽だまり

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名 平田 淳子

評価完了日

平成19年4月1日

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 6月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	3870500406		
法人名	社会福祉法人 すいよう会		
事業所名	グループホーム 陽だまり		
所在地	愛媛県新居浜市郷3丁目16番40号 (電話)(0897)46-5511		
管理者	平田淳子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年4月19日	評価確定日	平成19年6月1日

【情報提供票より】 (平成19年4月1日 事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成10年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	12人	常勤	3人, 非常勤 9人, 常勤換算 5.4人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成19年4月1日現在)			
利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	0名	要介護2	4名
要介護3	2名	要介護4	0名
要介護5	3名	要支援2	0名
年齢	平均 83.2歳	最低 69歳	最高 96歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人とともに事業所の全体の目標や今年の目標を決め、職員チーム一丸となってサービスの向上に向けて取り組まれている。
 地域交流の場所(郷の家)が事業所の近くにあり、利用者は職員とともに陶芸教室に通われたり、地域の方達と一緒にお茶を飲んだり地域の中でも楽しいひと時を過ごされている。
 調査訪問時、利用者は、職員と声を掛け合いながら食事の支度をされていた。職員は、利用者の意欲や意思を引き出せるような声かけや支援をされている。また、ご家族にアンケートをとり、希望や要望を出していただけるよう取り組まれている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・自己評価作成については、職員それぞれで各項目について評価し、その後全員で話し合い、管理者がまとめておられる。

今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・利用者が使用している薬についての知識を深めるため看護教室等で勉強をされていた。
 ・認知症のことについての資料を自治会に配布された。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)

・運営推進会議では、事業所の様子や取り組みについて出席者にお話をされている。
 ・市から外部評価についての説明がなされた。
 ・ご家族からボランティアの意義についての質問があり、地域の方から自主防災組織の確立について提案があった。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)

・ご家族から要望や意見が出た場合は、その都度お返事をされている。行事ごとの際にご家族同士がお話をされるような場面もある。ご家族の中には家族会発足への要望もある。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・地域の老人会に加入されている方もいる。地域のお年寄りとかかわるような機会もある。また、地元からの職員も多く、地元との交流も盛んに行われている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業所の基本理念「利用者と共に、そして、地域のパートナーとして」(そのころは、常に相手の立場に立って)また、ホームでの介護理念は「ゆったり笑顔でご本人に寄り添います」		
			(外部評価)		
			地域の催しに参加したり、日常的にも助けたり助けられる等、地域とのつながりを深め、よきパートナーとなることを目指すための基本理念を作成されている。		今年度の目標に「地域との交流」を挙げておられる。今後もさらに地域とのかかわりを増やしていかれることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者と職員は「ゆったり笑顔でご本人に寄り添います」という理念を共有し、日々取り組んでいる。ホーム内の廊下や台所(皆さんが見えやすい所)に理念を掲げている。		
			(外部評価)		
			管理者や職員は、理念を意識し、日常のケアの中で個々で自分自身に問いかけながら利用者にかかわっておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			2ヶ月に1回の運営推進会議において理解してもらっている。分かりやすい理念であり、実践していると家族側から評価を頂いた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 管理者や職員は、通勤時や入居者との散歩、ゴミだし、洗濯干しなど、農作業をされている方などに気軽に声をかけ挨拶をしたり、また、優しく声掛けてもらったりしている。旬の野菜や花を頂いたり一緒に収穫を楽しんだりしている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会に加入している。また、地域に住んでいる職員が多いため、地元の人々と交流は自然な形で出来ている。盆踊り、秋祭り等に参加し、地域交流を図っている。運営推進会議には自治会の会長らに出席して頂き、相互の交流が出来ている。 (外部評価) 地域の老人会に加入されている方もいる。地域のお年寄りとかかわるような機会もある。また、地元からの職員も多く、地元との交流も盛んに行われている。		さらに今後は、地域の清掃活動にも参加可能な利用者には声かけをしていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議においては、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか、ご家族を交えた中で話し合いが行われている。地域の方から会議の中で使用した参考資料は良い評価を頂いている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会等で外部評価調査報告書の改善点を話し合い、改善に向けて取り組んでいる。職員全員で自己評価に取り組み、質向上の維持を理解している。 (外部評価) 自己評価作成については、職員それぞれで各項目について評価し、その後全員で話し合い、管理者がまとめておられる。前回の要改善点について、利用者の使用している薬についての知識を深めるため看護教室等で勉強をされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いが行われ、意見交換の際、助言などには真摯に受け止め、今後に活かす努力をしている。また、議事録にまとめ、出席者に配布している。		今後も運営推進会議での意見をサービス向上に活かしていく。
			(外部評価) 運営推進会議では、事業所の様子や取り組みについて出席者にお話をされている。また、市から外部評価についての説明がなされた。ご家族からボランティアの意義についての質問があり、地域の方から自主防災組織の確立について提案があった。		今後、出席者からの意見をきっかけにして、地域や家族との協力体制など横のつながりを深めていきたいと考えられていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価) 市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来し、サービスの質向上の為にアドバイスを頂いている。		これからもサービスの質向上に努めたい。
			(外部評価) 事務手続きの際に市へ出向いておられる。		今後は、事業所のことを市の方にもさらに知っていただくためのかわりを希望されており、介護相談員の受け入れなども検討されていた。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に出席し、理解している。必要な人には活用できるように支援したいと考えている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者や職員は、職員会や研修会などで学ぶ機会を持っている。又、新聞などの情報を職員間で共有し話し合いが行われている。		職員間で共有し合い、これからも虐待防止の徹底に積極的に努めていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を实践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、重要事項説明書などで説明を行い、理解・納得を頂いている。また、利用者やご家族の不安、疑問点の聞き取りを行い、十分説明している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者が意見・不満・苦情を寄り添うケアの中から表せる機会を設け、それらを日々の申し送りや職員会などで共有し検討し、反映するよう努力している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態など、ご家族の来訪時や緊急の場合は電話連絡などで報告をしている。全体的な事は運営推進会議でも報告する機会がある。 (外部評価) 月1回ご家族が来訪する機会を作り、ご本人の事業所での様子等をご家族に伝えたり、意見をもらうようにされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時の重要事項説明書やホーム内の受付には、苦情等申立先として「苦情解決責任者」「苦情受付担当者」「運営適正化委員会に申し立てることが出来ること」を明記している。また、運営推進会議の中で意見や不満など表せる機会を設け、反映させている。 (外部評価) ご家族から要望や意見が出た場合は、その都度お返事をされている。行事ごとの際にご家族同士がお話をされるような場面もある。ご家族の中には家族会発足への要望もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者はボーナス支給時、個々の意見を聞く機会がある。また管理者は雇用契約更新時の面接や職員会や共に仕事をする中で、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、運営者に伝えていく努力をしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者状況の変化（入居時の環境が変わった時、健康状態が変化した場合など）必要な時間帯に職員を確保するための柔軟な対応が出来るよう、勤務調整の対応が出来る。これからも調整に努めていく。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動や離職はあまりない。利用者へのダメージはない。		
			(外部評価) 職員の入れ替わりはあまりなく、利用者と職員は、馴染みの関係が築かれている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 運営者は法人内外の研修を受ける機会の確保や、向上心を持って働き研鑽していくことを進めている。職員会（月1回）ミーティング（月1回）看護教室（月1回）実施愛媛県GH連絡協議会主催の研修会など実施している。		
			(外部評価) 新人職員は、法人内の事業所で10日間研修を受けるようになっている。職員会時に勉強会を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>同業者との相互研修を行っている。交流に参加した職員から情報報告や感想など職員会などで発表。今後のサービスの質向上にさせて頂いている。これからも利用者が自分らしく暮らせるために地域の同業者との勉強会などの相互交流出来る機会を持ちたいと考えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>相互評価等にも積極的に参加されている。地域の同業者との研修会に参加し、交流することで気付きや取り組みのきっかけとなっている。</p>		ケアマネジャー、計画作成担当者同士のネットワークや勉強会など地域の同業者との交流をもちたいと考えている。 さらに、今後も地域の同業者とのつながりを大切に、交流や気軽に相談し合える関係を作っていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>運営者は管理者や職員のストレスを軽減する為に事業所内で安全衛生委員会があり、工夫や環境作りに取り組んでいる。</p>		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	<p>(自己評価)</p> <p>各自が向上心を持って働けるよう今後も努力していく。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	<p>(自己評価)</p> <p>相談から利用に至るまでに、ホーム側はたくさんの情報が必要だが、本人が困っていることなどは本人自身から話されることはあまりない。家族や転居前からの情報が多い。入居されてからは本人の気持ちを傾聴し職員間で話し合いが行われ信頼関係を築いている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止めている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談を受けた時に、本人や家族の不安や求めていることをよく聴き、受け止め理解する。他のサービス利用も含めた対応については、例えばという対応の仕方、市役所や事業所内のサービス利用の説明を行う。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人が安心できるよう、家族や管理者や職員は充分話し合いし、支援している。また、本人の不安な点を理解し、家族等と充分相談しながら工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族等とも話し合い、居室のしつらえや設備等もご本人が使いやすく馴染みやすいように工夫をされていた。</p>		<p>入居前のお試し利用が可能なのか運営者と相談していく。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は個々の利用者の自分らしさを大切にしながら、本人の出来る事を見極め、尊重し、寄り添いながらケアしている。また、出来た時は感謝の気持ちを表し、尊敬し、共に支えあう関係を作っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>寂しくて眠れないような時には、側でお話をされたり、添い寝等、一緒に過ごされている。日常的に感謝の言葉を伝えたり、不安そうな時には、職員から声をかけておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 四季折々の行事や誕生会などを家族と共有している。また、運営推進会議や家族の来訪時には、色々な連絡や報告、相談をしているので、共に支えあう関係を築いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族のよりよい関係に向けた支援をしていく為に、職員は家族の来訪時には本人と家族だけの場を設けている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人が大切にしてきた友達が来訪時には、ゆっくりお話出来るよう場作りをしたり、昼食を共にしてもらったりしている。職員はその雰囲気作りをしている。また、本人の意向により昔懐かしい人や場所に行くという支援をしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 散歩、調理、洗濯干しや居室訪問のおしゃべり、利用者同士の食事介助援助や車椅子介助など関わり合いのさりげなく雰囲気作りの支援をしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用が終了しても、継続的な関わりを利用者や家族に声掛けしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。この視点で日々の寄り添いケアにあたっている。特にケアプラン作成時には「本人は・・・」という思いを大切に作成している。		
			(外部評価)		
			日常の中で、担当職員が思いや意向を聴き取り、職員間で話し合い共有されている。		さらに、今後も利用者個々から得た情報を蓄積できるような方法についても工夫を重ねていかれることが期待される。
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境などは日々の寄り添いケアの中から本人の発する言葉や家族の聞き取りから把握に努め、職員間で共有するよう努めている。		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている</p>	(自己評価)		
			日々の寄り添いケアから一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力などの現状を記録し、職員間で共有し、総合的に把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、看護師の含む職員会で話し合いが行われている。利用者の力によって、本人に話し合いを持っていく場合もある。緊急な課題が発生した場合は緊急ミーティングが行われたり、家族に相談したりする。		介護計画作成後、家族に了解貰う場合が多いが、今後は家族の意見やアイデアを今以上に反映出来るよう努める。
			(外部評価)		
			看護師を含む職員で意見を出し合い計画を作成されている。センター方式で介護計画を作成されている。計画作成後にご家族に説明を行い、確認いただくようになっている。		さらに、ご本人が求めていることにこだわりながら計画を作成していくような取り組みや、ご本人を取り巻く人々からの意見なども反映できるような取り組みなども期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画期間の3ヶ月毎の見直しを行うとともに、変化が生じた場合には、その都度家族や必要な関係者と話し合いが行われている。話し合いの結果は申し送りなどで職員に徹底している。これからは現状に即した新たな計画作成を記録に残していくよう努めたい。		随時計画修正は行われていない。作成するよう努めたい。
			(外部評価) 3ヶ月ごとの見直しとなっている。状態変化等については申し送りノートを用いて職員間で情報共有されている。		さらに今後、介護計画の見直し方法などについても検討していきたいと考えておられた。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、日々の申し送りや職員会などでは情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 協力医療機関があり、アソカ園（特養）、和が家（認知症専用サービス）、ひまわり（事業所内託児所）、すいよう作業所（知的障害者授産施設）、芸術の作品展など行われている喫茶店、地域の交流場所（郷の家）など事業所の多機能性を活かした交流が行われ、共存生活が行われている。		
			(外部評価) 法人内の事業所との交流が活発になされている。家族等の希望などもあり、美容院や身内の結婚式等に送迎されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 音楽療法やお茶会、陶芸教室などで地域資源との協働が行われている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、今まで以上の地域資源との協働を行えるよう考えている。		利用者によっては、本人の意向やご家族の要望により傾聴ボランティア支援が行えるよう考えている。また、施設内のサービス、認知症専用ディサービスや事業所内託児所などとの交流を深めていく。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターとの協働はほとんど出来ていない。		本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメントを行っていくよう地域包括支援センターと協働していく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 外科・内科を有する医療と連携がとれており、異常時にはすぐ受診出来る。また、本人や家族の希望を大切にしながら、協力医院から紹介状を書いて頂き、受診出来るようになってきている。 (外部評価) 重要事項説明書で説明を行い、ご本人、ご家族同意のもと協力医療機関で適切な医療が受けられるようになってきている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医等認知症に詳しい医師との関係を築けてなく、職員が相談できる専門医はない。しかし主治医の紹介状を頂き、認知症に関する診断や治療を受けられるような支援は出来ている。		専門医等認知症に詳しい医師と職員が相談出来るようになるためのアドバイスを頂きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員が日常の健康チェックを行い、会話をしながら、体調の観察に努めている。健康管理が充分行われているので、ここ1年間、特に夜間の急変がほとんどないのは良い成果である。また、職員は看護師と気楽に相談できる関係である。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した方はこの一年間で2名であった。入院時は度々状況を把握する為に入院先に出向いたり、出来るだけ早期に退院できるよう関係者や家族との情報交換や相談に努めた。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) この1年重度化した利用者はいないが、家族と連携病院や運営者も含めてその様な場合の内容については十分話し合いを持ち、職員も含め方針を共有する。		
			(外部評価) 事業所の看取りの指針を明確にされており、ご本人ご家族に説明を行っている。ご本人の状態の変化時は、ご家族にご意向を聴くようにされている。		さらに、ご本人の意向も大切に、できるだけ早い段階からこれからのあり方について探ったり話し合うような取り組みなどもすすめていかれてはどうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 47番と同じで、家族、かかりつけ医、職員とともにチームとして支援に取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居時にはご本人の言葉や様子を十分観察し、職員やご家族と十分相談、本人の要望や変化などを確かめながらケアしている。また、住み替え時にはご家族やケア関係者との情報交換は十分に行われている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとり、その人に合った言葉掛けを職員それぞれが工夫しケアしている。また、言葉かけや対応などに損ねる点があった場合は職員間でお互い注意しあっている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者の呼び方や言葉かけなどについても、職員は、利用者一人ひとりの尊厳が保てるよう気配りをされていた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>説明はその人に分かるように十分に個々に説明されている。自分で決めたり、納得しながら、生活出来るよう支援がなされている。自己決定が出来ない利用者には職員は本人の思いや希望を寄り添いケアの中から理解するよう努めている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>無理な声掛けはせず、一人ひとりのその日の体調や希望に合わせて支援している。共同生活をしながらも、職員側の決まりや都合を優先するのではなく、出来るだけ本人本位に合わすよう努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、買い物に行くことを希望される利用者には、職員が付き添い出かけられていた。また、利用者それぞれ庭を散歩したり、居間でゆっくりとくつろがれている様子等もうかがえた。毎朝お経を唱えることを日課とされている方もいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理美容は本人の希望で職員がカットしたり、本人の希望で美容師さんに来て頂いたりしている。外出時にはお化粧される利用者がおられ、自分なりのおしゃれを楽しんでいる。今後もその人らしい身だしなみやおしゃれの支援が出来ればと思う。		その人らしい生活をして頂くために今後も外出する機会を増やし、その人らしいおしゃれを楽しんで頂きたいと思う。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備や片付けなどは、一人ひとりの力を活かし、寄り添いながら支援している。食事は以前と比べると食事介助や見守りの方が多くなっているため、利用者と職員と一緒に楽しみながらの食事は出来にくいですが、楽しみなものになるよう日々工夫に努めている。 (外部評価) 利用者と職員が協力し合って食事作りをされており、食事時は、職員も利用者と一緒にテーブルを囲み、サポートをしながら食事をされていた。利用者個々が食器の片付けをされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人が望む物に合わせて楽しんで頂けるよう支援している。お酒は行事の時に一人ひとりに合わせている。喫煙者には他の利用者に迷惑のかからないよう場所を決め、タバコや火の元は職員が管理して、日常的に楽しめるよう支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間毎や体調などを考慮しながらケアしている。また尿意のある方には紙パンツ外しに努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>曜日や時間帯は決まっているが、本人の希望や体調に合わせ支援している。入浴をゆっくり楽しめるよう、本人の希望に合わせ支援している。今のところ夜間入浴の希望者はいない。また、本人の希望に応じて、入浴日外でも入浴できるようになっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在は、入浴について、曜日や時間帯を決めておられる。汗をかいた時にはシャワーを浴びたり、時に、仲のよい方向士と一緒に楽しめることもある。</p>		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>本人の生活パターンを重視している。夜間不穏状態の利用者を受け入れながら、他の利用者が安眠休息できるよう職員は情報を共有しながら支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>介護度のレベル差があるため、職員は一人ひとりを寄り添うケアをしながら、ご本人をよく理解している。また、職員間の情報共有しながら、役割や楽しみごと、気晴らしの支援をしている。(人のお世話をすることが好きな方、陶芸教室への参加で地域の方との会話を楽しんだり気晴らしをする方、散歩をする方等々)</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域の交流場所の陶芸教室へ、職員と一緒に通われている方がいる。散歩時に近所の方とお話を楽しまれたり、時に、頂き物等もある。法人内のデイサービスや託児所へ行かれることもある。</p>		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>職員は本人がお金を持つことの大切さを理解している。今のところ事務所で預かっており、本人の希望や力に応じて、その都度使えるようになっている。また、家族には1ヶ月に1度会計報告を行っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日の天候や利用者の希望を取り入れ、出かけられるよう支援することを大切にしている。一人ひとりのその日の希望にそって、日常的な外出支援を重視している。		
			(外部評価)		
			利用者個々の行きたいところへ行けるよう支援されている。映画を観たり、地域の交流場所（郷の家）へ出かけたり、日常的な散歩や庭で過ごすなどされている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個別に法事、結婚式の出席、映画、花見、作品展など、家族や他の利用者と共に外出できるよう支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望に応じ、その都度支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気楽に訪問出来、時には利用者の希望や訪問者の希望に応じて、分け合って食事をしたりの対応をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束をしないケアに取り組んでいる。看護教室や職員会で勉強会を開催している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解し、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者の不穏時には、職員と散歩したり、馴染みの人に会いに行ったり、理解者である家族が来て散歩したりと工夫している。 (外部評価) 事業所が、線路沿いに立地しており、ご家族からの声もあり、利用者の安全に配慮し門扉に鍵がかけられている。		これからも、利用者の安心と安全を考慮しながら、外部者が気楽に安心して出入り出来るよう、職員間で充分話し合いを行っていく。 さらに、利用者の自由な暮らしを支援するという点からも鍵をかけずに対応できるような工夫について、話し合いを繰り返していけることが期待される。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。例えば、杖の保管、異食行為のある方への配慮。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットの記録や職員間の話し合いをし、情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。また看護教室で勉強をしている。		定期的に行わないと忘れてしまったり、急変や事故発生時には慌ててしまうので、これからも定期的に行っていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 1年間に防火訓練の勉強会は年2回行われ、火災や地震などの災害時を想定して話し合いや避難訓練が行われている。運営推進会議では災害対策の問題点の話し合いが行われ、地域の方からも理解を頂き、協力的である。 (外部評価) 自主防災組織の確立や地域との連絡網の整備等、いざという時に地域の協力を得られる体制が作られている。		昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につける為に、避難訓練の具体化を進めていく。また、事業所内では安全衛生委員会が発足し、今後協力が得られる。 利用者が重度化した場合等も想定し、すべての利用者が安全に避難できるような方策について、今後も話し合いを重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 認知度のレベル低下において考えられるリスクについて話し合い、抑圧感のない暮らしを大切にするため、家族と話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの体調の変化や異変発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、早期発見と対応に結び付けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護教室にて看護師により、定期的に薬の目的や副作用などの研修が行われている。また、利用者の症状により服薬の変化がある為、確認に努めている。これからも服薬の支援と症状の変化の確認に努めていく。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 看護師や職員により便秘のチェックがなされている。その都度便秘の予防と対応に心がけている。職員は水分補給に力を入れている。また身体を動かす声掛けを行っている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 介護度のレベル差があるため、口腔ケアの介助出来る利用者には毎食後支援出来ている。また、自立で口腔ケアを行っている方には、毎食後声掛けをしている程度である。また、入歯の合わなくなった利用者には、歯科の通院支援をすすめている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援が行われている。特に血糖値を測定している方や嚥下障害、視力障害、自分で食事の出来ない方などには食べる量や栄養バランス、水分量などの支援している。 (外部評価) 法人内の栄養士が献立を立てられている。食事、水分の摂取量は記録されており、職員が把握できるようになっている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症予防の勉強会を看護教室で実施した。前年はノロウイルス予防の為ホーム内の消毒を実施。各自のタオルはペーパータオルに変更。しかし高齢者にとっては習慣化されたタオルを使用するため、毎日ハイターで消毒を行っている。また、使い捨て手袋、十分な手洗いやうがいの実施に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食中毒予防のために、台所、調理用具等の衛生管理を行っている。新鮮で安全な食材の使用と管理が出来ている。(魚は当日配達、肉や野菜は前日購入し冷蔵庫に管理している。)</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>立地環境のマイナス面をプラスになるよう。また、訪問者が安心して出入りが出来るよう話し合いが行われている。まず第一に大切なことは笑顔での対応。また気が付いた利用者に対応している姿もよく見受けられる。</p>		<p>散歩している地域の方と利用者がホームの塀越しで話しをしている姿がよく見られる。そこベンチなどを置き、地域の交流の場になると良いという意見が出ている。事業所と検討したいと思っている。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>清潔には心がけている。圧迫感がなく、リビングには季節感を感じられるよう、正月・節句・クリスマス等には飾り物を変え、居心地良く過せるよう工夫している。季節の花なども、リビングや自室、トイレなど利用者が自主的に飾ったり、地域の方から頂いたりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には五月人形が飾られてあり、季節の花が生けてあった。日当たりのよい畳の間で利用者同士がおしゃべりをされている様子がうかがえた。時に聞こえる電車の音については、利用者は慣れておられ違和感はないとのことであった。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれの部屋に訪問したり、リビングや玄関の長椅子、テラスの椅子等を利用して、おしゃべりしたり、お茶を楽しんだりしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の希望で寝具、タンス、椅子、テレビ等好みのものを使用し、家族が訪問時等は居心地よく過ごされている様子が見受けられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>それぞれが馴染みのものを持ち込まれており、お孫さんが描いた絵や見やすいカレンダー、ご家族の写真等がかけられている。個々が落ち着いて過ごせるようなしつらえの工夫をされていた。</p>		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の健康状態によって常時、湿度計、温度計の必要な方には居室に設置している。換気が必要であるが、利用者によっては風が入ると嫌がる利用者が居るので、タイミングよく行っている。気になるにおいがある場合は気分を損ねないようにさりげなく対処している。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>車椅子使用の利用者にとって、廊下は幅が広く、手摺りがあり、移動しやすい環境となっている。トイレ洗面所は間口が狭く、自走しにくいスロープがある。職員間で話し合い、色々工夫し、改善しているが、自立支援しにくい環境である。</p>		事業所と環境づくりの相談しつつ、今の環境で一人ひとりが自分らしく暮らしていくために、出来ることを見つけ、安全かつ出来るだけ満足した生活が送れるよう、職員で話し合い工夫していく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>職員は一人ひとり出来ることを見極めての支援をしている。混乱や失敗を防ぐために寄り添うケアをしている。</p>		
87		建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	<p>(自己評価)</p> <p>建物の外周は散歩コースとして利用している。また、ベランダにはテーブルや椅子を設置し、利用者同士おしゃべりを楽しんでいる。</p>		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の 2/3 くらい 3 利用者の 1/3 くらい 4 ほとんど掴んでいない	寄り添うケアをすることで、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に 1 回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	業務の中で利用者と常に寄り添いながら心をかけている。また、仕事後、「利用者一人ひとりとどんな過ごし方をしたか、自問自答することを心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	利用者は、一人ひとりのペースを大切にしている。また、私達は一人ひとりのペースで暮らすことを支援している。今後も努力したいと思っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	職員が支援することで生き生きした表情や姿が感じられると、私達も幸せである。ちょっとした声掛け、一緒に歌を唄う、話に耳を傾ける、手を握手する、肩をさすだけでも、顔の表情が明るくなり、生き生きとした表情になる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	全ての利用者の希望通りには出来ていない。出来る限り戸外の行きたいところに出掛ける支援をしていきたいと考えている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	看護職が利用者の健康管理チェックや職員への助言、異常の早期発見、迅速な対応などにより安心に過ごせている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	利用者のその時々状況や要望に応じて柔軟な支援をしていこうという姿勢で支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の 2/3 くらいと 3 家族の 1/3 くらいと 4 ほとんどできていない	職員は家族が困っていること、不安なこと、求めていることを良く聴いている。信頼関係に努力している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に 1 回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者のお友達が訪ねて来たり、地域の人々の交流の場であるお茶会に出掛けたり、馴染みの方のオカリナ演奏の方が訪ねて来たり、通いの場である陶芸教室へ参加したり、認知症専用サービスから馴染みの方が訪ねて来たり、事業所内託児所の園児らが遊びに来たりしている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価)	①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない 運営推進会議を通して、地域や地元の関係者とのつながりが拡がり、ホームを理解者や協力者が増えていると実感している。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価)	①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない 管理者として、職員が生き活き働けるよう努力している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価)	②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない 満足度は利用者の表情に表れてくる。その時の状況によっては、ご家族からも応援をして頂いている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価)	②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない 家族側からの要望がたまにあるので。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

毎年事業計画を立て、目標に向かって実践している。
 職員は「家庭的な環境作り」「手作り料理」「明るい声かけ」「利用者の意思を大切に」を心かけ支援している。
 行事は利用者一人ひとりが自分らしく暮らして頂くよう個別行事を重視する。